

# 患者さんパンフレット

四国がんセンター  
骨軟部腫瘍・整形外科



私たち医療スタッフは

- I. 化学療法に対する不安を軽減し、最良の状態での治療が受けられるようにお手伝いします
  
- II. 治療後の苦痛や副作用を最小限にし、順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします

# トラベクテジン（ヨンデリス）療法を 受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

# トラバクテジン（ヨンデリス）療法のスケジュール



トラバクテジン  
（ヨンデリス）



約24時間の点滴です

・この他に、アレルギー予防や副作用予防のための点滴があります

- ・抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります  
過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- ・息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは  
我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



## 治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の  
歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
  - ・レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
  - ・歯ブラシだけではとれない細菌の除去
  - ・適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です  
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります  
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を  
きれいにして細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



## 入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります  
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう  
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
  - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
  - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります  
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- \* 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- \* 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます  
尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・ **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう  
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
  - \* 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
  - \* トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

# ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約9日間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります、その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





### 今日の目標

- ・入院生活と治療内容について理解できる
- ・治療中の注意事項について理解できる
- ・心身ともに治療を受けられる状態にある

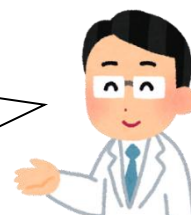
<時間>	<予定>
11:00	入院 【入院後に以下のことを予定しています】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）</li> <li>・検温、血圧測定、身体測定</li> </ul>
12:00	昼食 <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液検査、尿検査</li> <li>・入院前の生活状況や身体状況の聞き取り</li> <li>・初回治療のときは、栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります</li> <li>2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください</li> </ul>
	<お薬> 他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
	<食事> 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください 基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります
18:00	夕食 <清潔> シャワー浴は時間内であればいつでも可能です
21:30	消灯 <睡眠> 眠れないときは安定剤を服用することができます



薬剤師から治療の流れや副作用の説明があります  
 治療について詳しく記載された冊子をお渡しします

### 医療スタッフの目標

- ・安心して治療が受けられるように支援します





今日の目標

- 副作用について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 治療日記を記入できる

<時間>

<予定>

治療日記を記入しましょう

6:00 洗面、歯磨き、検温、血圧測定

7:30 朝食

シャワー浴は午前中に行いましょう

10:00 検温、血圧測定

血管外漏出、アレルギー反応、吐き気・嘔吐について説明します  
「治療のてびき」冊子参照

12:00 昼食

治療前にトイレに行きましょう

13:00 点滴を始めます

※抗がん剤の投与前、開始15分後に、血圧、脈拍を測定します  
移動はゆっくり行いましょう

14:00 検温、血圧測定

18:00 夕食

19:00 検温、血圧測定

21:30 消灯



治療開始後は  
フタをして水を  
2回流しましょう

横紋筋融解症の症状（手足・肩・腰・その他の筋肉が痛む、手足がしびれる、尿の色が赤褐色になる、こわばる、手足に力が入らない、全身がだるい）が現れたら医療スタッフにお知らせください

医療スタッフの目標

- 抗がん剤点滴中の副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





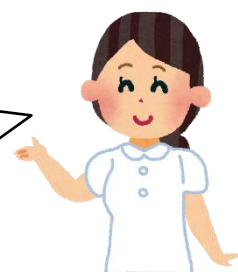
## 点滴スケジュール

13:00～ 点滴を始めます

1本目	中心静脈カテーテルポートから生理食塩水を注入します
2本目	吐き気止めの点滴を約30分で行います
3本目	100mlの点滴を約30分で行います 3本目の点滴中に一度トイレに行きましょう
4本目	ヨンテリス（抗がん剤）が入った点滴を約24時間で行います

点滴の管をひっぱったり、体の下に敷き込んだりしないように気をつけましょう  
ベッドから起き上がる時は、リモコンを使いましょう

- \*針の入っているところが赤い、腫れている、痛みがある、違和感がある、衣服が濡れているときはすぐにお知らせください
- \*呼吸が苦しい、吐き気がする、胸が苦しい、体がかゆい、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください



# 治療後2日目 月 日



## 今日の目標

- 副作用について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 治療日記を記入できる
- 38.0℃以上の発熱がない
- 便秘や吐き気がない
- 手足のしびれがない

<時間>

<予定>

6:00 起床  
検温、血圧測定

水分をしっかりとりましょう  
治療日記を記入しましょう

7:30 朝食  
デカドロンを服用しましょう

★毎週金曜日は体重測定します

フタをして水を  
2回流しましょう



10:00 検温、血圧測定

食欲不振、倦怠感、便秘について説明します  
「治療のてびき」冊子参照

検温、血圧測定

12:00 昼食

針を抜いてから2時間経過すれば  
シャワー浴ができます

14:00 検温、血圧測定  
抗がん剤の終了時には、血圧・脈拍を測定します  
点滴が終了したら針を抜きます

• 吐き気が強いときは 追加で薬を使うことができます  
• 食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます



18:00 夕食

19:00 検温、血圧測定

横紋筋融解症の症状（手足・肩・腰・その他の筋肉が痛む、手足がしびれる、尿の色が赤褐色になる、こわばる、手足に力が入らない、全身がだるい）が現れたら医療スタッフにお知らせください

21:30 消灯

## 医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 副作用について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 治療日記を記入できる
- 38.0℃以上の発熱がない
- 便秘や吐き気がない
- 手足のしびれがない

<時間>

<予定>

6:00 起床  
検温、血圧測定

水分をしっかりとりましょう  
治療日記を記入しましょう

7:30 朝食  
デカドロンを服用しましょう  
★毎週金曜日は体重測定します

10:00 検温、血圧測定

副作用と対策について説明します  
横紋筋融解症（関節痛・筋肉痛を含む）について  
「治療のてびき」冊子参照  
「関節痛・筋肉痛」ページ参照

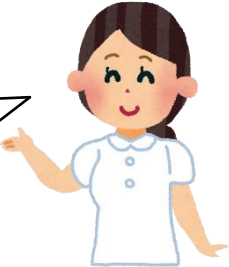
12:00 昼食  
体調に合わせて  
シャワー浴をしましょう



フタをして水を  
2回流しましょう

14:00 検温、血圧測定

• 吐き気が強いときは 追加で薬を使うことができます  
• 食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます



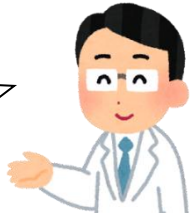
18:00 夕食

19:00 検温  
血圧測定

横紋筋融解症の症状（手足・肩・腰・その他の筋肉が痛む、手足がしびれる、尿の色が赤褐色になる、こわばる、手足に力が入らない、全身がだるい）が現れたら医療スタッフにお知らせください

21:30 消灯

医療スタッフの目標  
• 副作用症状の早期発見に努めます



# 治療後4日目 月 日



## 今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- ・治療日記を記入できる
- ・38.0℃以上の発熱がない
- ・便秘や吐き気がない
- ・手足のしびれがない

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりとりましょう  
治療日記を記入しましょう

7:30

朝食

★毎週金曜日は体重測定します

10:00

検温、血圧測定



フタをして水を  
2回流しましょう

12:00

昼食

体調に合わせて  
シャワー浴をしましょう

- ・吐き気が強いときは 追加で薬を使うことができます
- ・食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます



18:00

夕食

横紋筋融解症の症状（手足・肩・腰・その他の筋肉が痛む、手足がしびれる、尿の色が赤褐色になる、こわばる、手足に力が入らない、全身がだるい）が現れたら医療スタッフにお知らせください

21:30

消灯

## 医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- ・治療日記を記入できる
- ・38.0℃以上の発熱がない
- ・便秘や吐き気がない
- ・手足のしびれがない

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりとりましょう  
治療日記を記入しましょう

7:30

朝食

★毎週金曜日は体重測定します

10:00

検温、血圧測定

副作用と対策について説明します  
治療5日目：暖だんの紹介  
治療6日目：白血球減少、ヘモグロビン減少、血小板減少、  
肝機能障害について  
「治療のてびき」冊子参照

12:00

昼食

体調に合わせて  
シャワー浴をしましょう

- ・吐き気が強いときは 追加で薬を使うことができます
- ・食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます



18:00

夕食

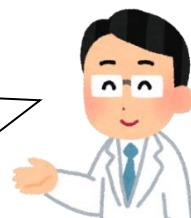
横紋筋融解症の症状（手足・肩・腰・その他の筋肉が痛む、手足がしびれる、尿の色が赤褐色になる、こわばる、手足に力が入らない、全身がだるい）が現れたら医療スタッフにお知らせください

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・治療日記を記入できる
- ・手足のしびれがない
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりととりましょう  
治療日記を記入しましょう

7:30

朝食

★毎週金曜日は体重測定します

10:00

血液検査  
検温、血圧測定

退院前日に、退院後の日常生活について説明します  
次回外来予約票、入院予約票をお渡しします  
2階入院受付で、次回の入院手続きをしておきましょう  
「退院後の日常生活について」ページ参照

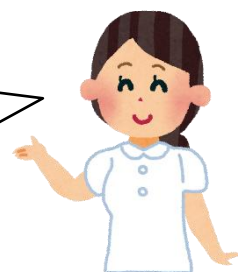
12:00

昼食

体調に合わせて  
シャワー浴をしましょう

感染予防のために手洗い・うがいは  
しっかりしましょう

- ・吐き気が強いときは 追加で薬を使うことができます
- ・食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます



18:00

夕食

横紋筋融解症の症状（手足・肩・腰・その他の筋肉が  
痛む、手足がしびれる、尿の色が赤褐色になる、  
こわばる、手足に力が入らない、全身がだるい）が  
現れたら医療スタッフにお知らせください

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院後の日常生活に不安が残らないように支援します



退院日 月 日



### 今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床  
検温、血圧測定

7:30

朝食

10:00

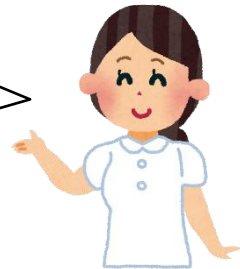
退院  
退院前に忘れ物がないようにご確認ください  
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、  
2階でお支払ください

水分をしっかりとりましょう  
治療日記を記入しましょう

次回外来受診は

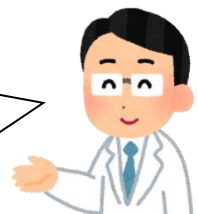
月 日 ( ) 時の予定です

治療後、時間が経って出現する副作用もあります  
薬剤師がお渡しした冊子を参照してください  
副作用症状について再度確認し、次の治療に向けて  
体調を整えておきましょう



### 医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安が残らないように支援します



## ● 関節痛・筋肉痛

### 1. 定義

筋肉や関節に痛みが生じることをいいます



### 2. 筋肉痛・関節痛の時期

投与後3～5日後に症状が現れ、症状のほとんどが一時的なもので数日以内におさまってきます

### 3. 症状

腰や腕、背中や肩の筋肉に痛みを感じたり、ひざ・ひじの関節などに痛みを感じる場合があります

### 4. 治療方法

つらいと感じるときは、痛み止めの薬（内服や湿布）を使用して症状の軽減をはかります

### 5. 予防方法（日常生活の注意点）

- 入浴などで体を温めたり、適度なマッサージで筋肉をほぐし、血行を促進してみましょう
- 同じ姿勢でいると筋肉や骨の萎縮をまねきやすいので、無理のない適度な運動を心がけると良いでしょう





ウィッグ以外にも  
お役立ち製品が色々♪



メイク ネイル用品

ウィッグ 帽子 ヘア用品 ネックカバーなど



治療によって脱毛・肌や爪のトラブルが起こる可能性がある方に、上記展示品の案内や試着を行っています

お住まいの自治体によっては、治療に伴うウィッグに関する助成制度を設けています  
詳しくは本館2階『がん相談支援センター』でご相談ください

※暖だんでの販売は行っておりません  
気になる製品については購入方法をお伝えしています

# 退院後の日常生活について

## ●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう  
活動の内容や範囲に制限はありません  
感染予防に心がけ、マスク着用、手洗い、うがいをしましょう  
白血球が下がっているときは、人混みは避け、庭の手入れなど  
土を触る作業はできるだけ控えましょう



## ●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ  
可能な範囲で食べるとよいでしょう  
食事ごとに吐いてしまうときは、1～2食、食事は控えてみましょう  
この場合も水分はできるだけとりましょう

## ●清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう  
皮膚が乾燥していると感染を起こしやすいため、クリームなどで保湿しましょう

歯磨き、うがいをして口の中をきれいにしておきましょう  
歯ブラシを使って、歯磨きをしましょう  
虫歯、歯肉炎、義歯の不具合などがなければ確認しましょう  
歯科治療を希望される場合は、担当医に歯科受診についてご相談ください

## ●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください  
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



## ●仕事

これから先、安心して働き続けるためには  
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に  
なることもあります  
病院では、患者さんの「働きたい！」を  
サポートしています  
ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



ちりょうさ  
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

## ●治療日記

退院後も治療日記は毎日記入しましょう  
治療日記は、次回入院時にお持ちください  
「治療のてびき」P46～47に記載されている症状があるときは、医療スタッフに  
お知らせください



- ◆ 38.0℃を超える熱が出たとき
- ◆ 吐き気があり、水分・食事がほとんどとれない日が続くとき
- ◆ 体を起こすこともできないほどの強いだるさが続くとき

上記のような症状がある場合や、その他ご心配なことがある場合は  
がん相談支援センターにご連絡ください

◆ 四国がんセンターの連絡先 ◆

【平日】 8：30～17：15  
四国がんセンター がん相談支援センター  
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】  
日直/夜間当直師長  
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更  
【平日】 13：00～17：00  
四国がんセンター 予約センター  
(直通番号) 089-999-1112



トラバクテジン（ヨンデリス）療法を受けられる方へ